

『 岐阜県発日本一、世界一 ～3月～ 』

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第48回日本短水路選手権水泳大会 女子100m平泳ぎ	第2位	H19.3.3	三輪 芳美 (早稲田大学4年)	県岐阜商高卒	予選4組4レーンに出場した三輪は、参加選手41名中4番目のタイムで泳ぎ決勝へ進出した。決勝ではタイムを縮めたものの、エドミントン(オーストラリア)に破れて2位となった。(東京都:江東区 辰巳国際水泳場)
女子50m平泳ぎ	第3位	H19.3.4	三輪 芳美 (早稲田大学4年)	県岐阜商高卒	予選3組4レーンに出場した三輪は、参加選手33名中3番目のタイムで泳ぎ決勝へ進出した。決勝ではエドミントン(オーストラリア)、佐藤(日体大大学院)に遅れをとって3位となった。(同上)
スノーボードFISワールドカップ ハーフパイプ 女子 種目別総合成績	第6位	H19.3.18	中島 志保 (ヨネックス)	養老町出身	11月24日にスイス・サセフィーで始まった今季のワールドカップは、カナダ・ストーンハムで最終戦を終えた。全6試合の総合成績(種目別)において、中島は日本人では山岡(アネックス)の4位に次ぐ6位入賞を果たした。(カナダ:ストーンハム)
平成18年度全国高等学校選抜 自転車競技大会 3000m個人追い抜き	第1位	H19.3.23	高橋 翔太 (岐南工高)		高橋はレース序盤、入部(奈良・榛生昇陽高)にリードを許した。しかし、ラスト2周から持ち前のスタミナを生かしてスパートし、見事優勝を遂げた。3分39秒273は、例年の優勝記録を大きく上回る好タイムであった。(福岡県:北九州市 北九州アイドーム)
ケイリン	第1位	H19.3.24	近藤 龍徳 (岐阜第一高)		父と兄が競輪選手の近藤は、1年生ながらプロ顔負けのテクニックの持ち主。決勝では、3番手から後半一気に前の2選手を抜き去り優勝した。(同上)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成18年度全国高等学校選抜 自転車競技大会 スプリント	第2位	H19.3.24	田口 泰生 (岐阜第一高)		田口は大会直前まで調子を落としていたが、消極的なレースはしないように心がけて本番に臨み、一戦ずつ勝ち進んだ。決勝では雨谷(栃木・作新学院高)に敗れて、準優勝となった。(福岡県:北九州市 北九州ｽﾀｰﾄﾞｰﾑ)
スクラッチレース	第3位	H19.3.24	森 啓 (岐阜第一高)		森は競技力が高く、優勝を狙える選手。今大会はレース展開が読みきれず、小山(熊本・千原台高)、野口(奈良・橿生昇陽高)に先行を許して3位となった。(同上)
総合成績	第2位	H19.3.25	岐阜第一高		岐阜第一高は3名の出場ながら、近藤、田口、森の全員が優勝を含む上位入賞で得点を重ね、総合成績の部門で第2位となった。(同上)
総合成績	第3位	H19.3.25	岐南工高		岐南工高は、高橋(3000m追い抜き)の優勝、上田(スクラッチ)の4位、山内(ポイントレース)の6位で加点し、総合成績の部門で第3位となった。(福岡県:北九州市北九州ｽﾀｰﾄﾞｰﾑ)
第19回全国高等学校選抜スキー大会 (アパ)競技) 男子大回転	第3位	H19.3.24	米田 修平 (岐阜第一高)		1本目4位に付けた米田は、0.3秒に6人がひしめく混戦の中、2本目も攻める気持ちを忘れない滑りを見せて、新2年生ながら見事3位入賞を果たした。 (北海道:富良野市 富良野ｽｷｰｰ場)
女子大回転	第2位	H19.3.24	石井 貴子 (美濃加茂高)		タイム差が出づらい難易度の低いコース設定の中、石井はミスの少ない滑りで1本目5位につけた。2本目も要所でラインを保ちながら、攻める場面では積極的な滑りを見せ、全国の強豪がひしめく中2位に入賞した。(同上)
女子回転	第2位	H19.3.25	竹内 瑠美 (飛騨高山高)		竹内は、1本目にコース状態の悪い29番目のスタートながら、果敢に攻めて6位に食い込んだ。2本目も少ないミスで滑り終え、2位となった。(同上)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第23回全国高等学校体操競技選抜大会 女子 跳馬	第3位	H19.3.25	深尾明希穂 (県岐阜商高)		全国大会で入賞レベルの実力を持つ深尾だが、女子総合は得点が伸びず49.200の21位となった。しかし、得意の跳馬では13.550をマークして3位に入賞した。 (大分県：別府市総合体育館)
第16回全国高等学校剣道選抜大会 女子の部 (団体戦)	第3位	H19.3.28	中京高校		3校による予選リーグを勝ち上がった中京高校は、決勝トーナメントで土浦湖北高(茨城)、日吉ヶ丘高(京都)を倒して準決勝に進んだ。優勝した左沢高(山形)に1-3で敗れたが、3年前の3位、一昨年の2位に続いての3位入賞となった。(愛知県：春日井市総合体育館)
第34回全国高等学校選抜卓球大会	第1位	H19.3.28	富田高校 大野 中村 樽見 浦		絶対的なエースのいない富田高校は総力戦で本大会に臨み、準々決勝で優勝候補の青森山田高(青森)を3-1で退けて波に乗った。続く準決勝は武蔵野高(東京)、決勝では日南高(宮崎)を倒して10年ぶり2回目の優勝を遂げた。 (石川県：金沢市総合体育館)
第50回全国高等学校選抜レスリング大会 団体	第3位	H19.3.28	岐南工高校		準々決勝で八戸工高(青森)を6-1で圧倒した岐南工高は、準決勝で優勝した霞ヶ浦高(茨城)を相手に接戦を演じたが1-6で敗れて3位となった。(新潟県：新潟市体育館)
84kg級	第1位	H19.3.29	山口 剛 (中津商高)		山口は、危ない場面がほとんどないほどの圧倒的な強さで勝ち上がり、決勝においても岩永(長崎 島原高)を2-0で下して優勝した。(同上)
66kg級	第3位	H19.3.29	後藤 佳吾 (岐南工高)		後藤は、団体戦の疲労から本来の調子で個人戦に臨めなかったが、粘り強い試合運びで準決勝まで勝ち進み、3位入賞を果たした。(同上)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第38回全国高等学校選抜 ホッケー大会 男子	第1位	H19.3.30	岐阜総合学園高		決勝は個人技に優れた小国高(熊本)と対戦した。同点に追いつかれるも終盤は攻守で圧倒し、4年ぶり4度目の優勝を飾った。(和歌山県：日高町マンガッポウランド他)
女子	第2位	H19.3.30	岐阜各務野高		安田監督の最後となる大会で優勝を狙い、決勝で伊吹高(滋賀)を相手に優位に試合を進めたが得点につながらず、1-1のまま延長戦でも決着が付かずにPSとなり、1-3で惜敗して連覇を逃した。(同上)
第18回都道府県対抗全日本中学生 ソフトテニス大会 男子 個人の部	第1位	H19.3.27	岐阜県 小栗 元貴 小池 範之 (多治見中)		小栗・小池ペアは順調に勝ち上がり、準決勝で中島・岡田(埼玉：小川東、広島)を4-1で破って決勝に進出した。決勝は接戦となったが、榎・白井(奈良：王寺、都南)を4-3で下し優勝した。(三重県：伊勢市誉庭球場ほか)